



学校だより

一人一人が主人公

令和5年11月16日
豊岡市立但東中学校
11月号

【学校教育目標：ふるさとの未来を創る 自分をつくる 但東の子】

一人一人が輝いた文化祭

野山はすっかり秋の色となりました。皆様におかれましては、お変わりなくお過ごしのこととお喜び申し上げます。文化祭には大変多くの方々にご来校いただきましたこと感謝申し上げます。

本年度の文化祭のスローガンである「千笑万来～思い出に学年は関係ない～」にふさわしく、生徒一人ひとりが笑顔で輝くことができた素晴らしい文化祭となりました。

合唱練習の歌声が日に日に大きくなり、ハーモニーが美しくなっていくのが校長室からでもわかります。これまで当たり前だった文化祭の到来を告げる日常風景が戻ってきたのを感じた瞬間でした。そしてこの数年間、コロナ渦の影響で歌う事を制限されていた文化祭が再び戻ってきたことを実感した瞬間でもありました。

当日の合唱はどの学年も素晴らしく、生徒の皆さんの成長を実感することができただけでなく、みんなで学校文化を創り伝えていくことの大切さを再発見する機会となりました。

意見発表では、「未来に種をまこう」、「安心して生きていける子どもを一人でも多くするために」、「渡る世間に鬼はなし」、の3つのテーマでした。世界的な問題から身近な生活に関わる内容まで多岐にわたり、それぞれが自分の視点から堂々と意見を述べており、大変興味深い内容でした。

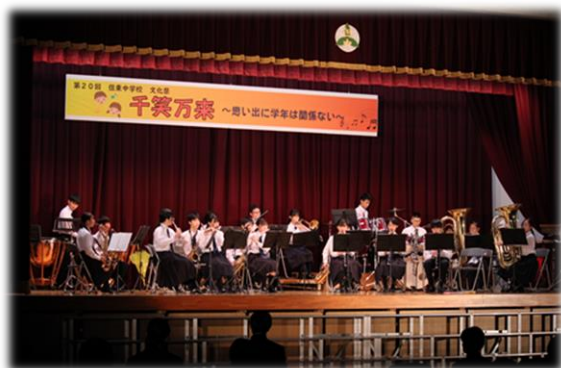
3年生のステージ発表では、ふるさと学習の総仕上げとしてこれまでの取組をまとめ、

未来へ提言し発信してくれました。発表を聞いた1・2年生の皆さんが、3年生の取組をさらに発展させてくれるものと期待しています。

教科学習の展示では、生徒の皆さんの日々の学習と成長の過程を感じることができました。一人ひとりの着眼点や表現の違いが興味深く、多様な価値の重要性や個性の大切さが実感できる良い機会となりました。



音楽部のステージは、音楽部の3年生にとって最後の演奏ということもあり、とても力が入った演奏でした。千笑万来にふさわしく、ところどころに笑いとユーモアを交え、みんなを演奏に巻き込み、一体となって音楽を楽しむことができました。



人権講演

「音楽で国境を越えて伝えたい！！」

講師 染谷 西郷 氏

FUNKIST というバンド活動やソロでも活躍しておられるプロのボーカリスト。お母さんは南アフリカ人バレエダンサー、お父さんは日本人フラメンコギタリスト。夢をあきらめない人だけが幸運をつかむことができる。自らの人生を語りながら、生きることの大切さを語っていただきました。



11月・12月の主な行事

11月 13日（月）PTCA 挨拶立ち番（20日（月））

3年生学習会（14日（火）、20日（月）、21日（火））

16日（木）進路相談会（17日（金）、20日（月）、21日（火））

17日（金）生徒会任命式

22日（水）期末考査前部活動停止期間（～30日（木））

23日（木）全日本少年野球大会

24日（金）3年生ジュニアブレカレッジ体験

1年生ランチタイム指導

25日（土）兵庫県剣道新人大会（～26日（日））

28日（火）2年生ランチタイム指導

29日（水）期末考査（～12/1日）

12月 1日（火）冬季バス開始

4日（月）3年生学習会（5日（火）、11日（月）、12日（火））

8日（金）特別支援学校居住地校交流

18日（月）期末懇談会（～20日（水））

22日（金）2学期終業式

24日（日）アンサンブルコンテスト

26日（火）兵庫県卓球新人大会（～27日（水））

